



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 7 年 1 月 17 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ミナガツク
団体名 御南学区ボランティア団体 ベターライフ御南
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	ベターライフ御南 ふるさとづくり活動
事業実施小学校区・地区	御南小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 5 回目 / 【令和3年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 1. 御南小学校区は急速に市街地化した地域であり、通勤族の若い子育て世代が多い学区です。 通勤族が多いことは、地域交流の希薄化の一因となっており、平成27年の御南小アンケート調査で「家族で地域行事に参加する家庭」が42%と低く、地域への無関心の改善が課題の一つです。 2. 又、地域活動の基盤であった子ども会活動も加入率が10%以下と衰退しており、地域の活性化には子ども会活動に代わる子育て世代が地域で交流・活躍できる場づくりも課題の一つです。 3. 御南学区では、子育て世代が地域住民と交流する場として「親子土曜塾」を開催して来ましたが、魅力ある行事実施に必要な屋内スポーツを実施する場所が無く 行事によっては受入人数にも制限がかかることより、イベント開催場所の確保も課題の一つです。【課題3は令和3年度に解決済みです】
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 1. 子ども達が自分の故郷として「誇りと愛着」が持てる学区づくりに寄与します。 ・就学前や小学校低学年からの行事参加で、多世代の地域住民と積極的に関わる場を提供します。 ・地域の伝統行事の伝承、季節の行事の伝承、友達や地域住民と楽しく交流できる場を提供し、良い思い出つくりと郷土愛を育む取り組みを進めます。 2. 地域活性化のための人づくりに寄与します。 ・中学生が地域の多世代と交流・活躍できる場を提供し、御南学区の日標のひとつである、中学生を地域のミドルリーダーに育成する場となる取り組みを進めます。 ・子育て世代が地域の多世代と交流・活躍できる場を提供し、小学校PTA、中学校PTA、町内会活動への参加に繋がる基礎づくりの場となる取り組みを進めます。 3. 高齢者が活躍できる場を提供します。 ・元気な高齢者が、多世代の住民との関わりを通して生きがいづくりの場となる取り組みを進めます。

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 - 多世代交流事業「親子土曜塾」の開催(原則 月2回、土曜日に開催) 年間28回 - 地域の伝統行事の体験 - 季節の行事(節句行事)の体験 - スポーツ体験(テニス, 卓球, ボッチャ, グラウンドゴルフ) - ディキャンプ(防災を含めた)での団体活動の体験 - 昔の遊びの体験 - おもちゃづくり - 野菜づくりの体験 - 料理(お菓子)づくりの体験。 - 公民館と共催の親子土曜塾 中学生企画:夏の遊ぼう会(夏休みの平日に開催) - 高齢者サロン「ふれあい土曜塾」の開催(年間8回～10回程度開催) - 乳幼児とのふれあい会 - 手芸教室等趣味の教室 - 歌と踊りの会 - 軽い運動の体験 - 料理づくりの体験。 - 御南小学校ESD活動体験学習の運営協力(年1回) - 地域伝統行事「舟ゆうさん」の運営協力。 - 七輪「火おこし体験」の運営協力。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 - 多世代の住民と交流でき「あいさつ」ができる子どもが増えることを期待しています。 - 地域行事に参加する小中学生を増やし、地域の大人と交流することで、中学生になった時に地域のミドルリーダーとして活動できる人物に成長してくれることを期待しています。 - 親子での参加(特に男親の参加)を促すことで、親同士の交流が活発になり、更には地域行事や町内会活動に関心を持ち参加してくれる人財が増えることを期待しています。 - 本事業へ参加することが高齢者の励みと生きがいになり、地域で活躍する高齢者が増えることを期待しています。 - 毎年実施される御南小アンケート調査において「家族で地域行事に参加する家庭」の割合を増やし、「地域のことに関心を持つ子ども」の割合を増やすことを目標に取り組みます。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 令和5年度から小中学生の参加者を増やすことに重点をおき、前年に参加者が少なかった行事の参加者を増やすべく、複合型行事(スポーツ体験とお菓子づくり等を同日に行う)を採り入れたことで参加者が増加傾向にあり、新規参加者も増えています。 他方で、前年と同じ内容の繰り返しだと、複数年参加している常連参加者は飽きてしまい、参加を見合わす傾向がありますので、今年度以降も個々の事業の検証を行い子ども達にとって魅力のある行事づくりに努めます。 - 郷土愛を育むために、参加者を増やし、参加者が感動する行事を増やすことを心がけます。 - パラリンピック競技のボッチャ体験会を開催し、共生社会を目指す活動に繋げて行きます。 - 野菜の苗を植え、育て、収穫した野菜を料理し、食事で頂く、食育行事を実施します。 - 昔あそび、おもちゃづくり等の素材を充実し、参加者の満足度向上を図ります。 - 新規行事や参加者が少ない行事はアンケートを実施し、行事内容の見直しを行います。 - 御南西公民館と連携し、中学生が参加する行事、中学生が企画する行事を継続します。 - 中学生が企画・運営し小学生が参加する行事「夏の遊ぼう会」の開催 (R5年8月開始) 9月に実施する「舟ゆうさん」に、環境学習を兼ね中学生ボランティアの参加 (R5年9月開始) - R6年からは、4月開催の「舟ゆうさん」にも中学生ボランティアが参加しています。 - 中学生と地域住民が参加するHUG体験・炊出し体験会の開催 (R3年11月開始) - R6年からは、親子での参加、小学生の参加呼びかけを行っており、今年度も継続します。 8月実施の防災体験キャンプに、6年生と中学生がボランティアで参加 (R6年8月開始) - 低学年・幼児が親子で参加し、共に活動し楽しめる行事づくりを目指します。 親世代の参加者が減少傾向にあり、親世代の参加者を増やすことが課題になっています。 親子での参加は、低学年と幼児が親子で参加するケースが大半なので、今年度から幼児の参加者が少ない行事を見直し、低学年・幼児親子が共に活動し楽しめ、且つ高学年も楽しめる行事づくりを模索していきます。

協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 (1)NPO法人岡山市子どもセンター:行事の運営協力。代表者の運営委員会への参加 (2)久米町内会(文化体育部,婦人部,子ども育成部) 舟ゆうさん、餅つき大会、等の行事の運営協力。代表者の運営委員会への参加 (3)御南西公民館 中学生企画行事の後援。行事実施状況等の公民館便りへの広報。運営委員会への参加 (4)岡山大学 ESD推進センター:岡山大学生のボランティア参加 (5)御南中学校区地域支え合い活動実行委員会:情報共有と子育て支援スキルの共有
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ①情報公開の方法 ・御南小学生全員への広報誌の配布。御南学区全域への広報誌の回覧。 ・御南西公民館だよりに行事開催予定を掲載し、御南中学校区全域へ広報。(R6年開始) ②情報公開の課題 ・御南学区HPへの掲載(要員育成・立ち上げ後)等、SNSの活用を目指していますが、要員育成が進んでいませんので、御南学区の重点課題として継続して取り組みます。
学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲(単位町内会等)での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・地域で活躍する子どもを育むため子どもを地域行事に積極的に参加させる取り組みを御南中学校区の共通課題として取り組み中なので今後も継続して行きます。 ・R6年度から、御南中学校区全域に回覧される公民館だよりに事業開催予定を掲載することに取り組みました。今年度も引き続き公民館だよりに事業開催予定を掲載いただきます。 ・現在も口コミで学区外からの参加があります。駐車場も一定数が確保出来ていますので、将来的にはSNS活用による情報発信で学区内外へ周知し、参加しやすい事業を目指します。
前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 1.前年度事業から改善・拡充点 ①中学生が参加・参画する行事の開催(御南西公民館との連携行事を含む) R6年12月時点で、公民館連携行事の5行事を含め11行事に延べ89名が参加しました。今年度も公民館連携行事を継続開催すると共に、他の行事についても中学生への広報を積極的に行いインストラクター役で協力してくれる中学生を増やして行きます。 ②岡山大学教育学部「ESDと総合学習」授業の履修学生の行事参加を継続します 令和6年度は、将来教師を目指している学生を中心に6月～12月の間で31名参加して頂き、子どもたちのインストラクター役として活躍頂いています。 今年度は新たな試みとして、大学生企画の行事開催に取り組みことを計画しています。 ③親子で参加出来る行事づくりに取り組みます R5年度から採り入れた、スポーツ単独行事にお菓子づくりを追加した複合型行事は参加者が増える効果がありましたので今年度以降も継続実施すると共に、個々の事業を検証し、低学年・幼児親子が共に活動し楽しめる行事づくりに取り組みます。 ④広報誌を低学年・幼児親子に訴求できる内容に見直します 現状の行事内容のみの広報紙から、親子で活動している写真を掲載した広報誌にします。 ⑤さつま芋植えつけ圃場を拡充します 親子で楽しめる行事として「さつま芋苗の植つけ」「お芋ほりと芋料理づくり」がありますが、参加者数に比べ圃場が手狭なので堆肥枠を使用した圃場拡充を計画しており、6万円の予算を計上しています。 ⑤高齢者向け「ふれあい土曜塾」の開催回数を増やします R6年より、7月、8月を除く毎月開催を目指し活動しています。今年度以降も運営スタッフの拡充に努め、ふれあい土曜塾の月1回開催を目指して行きます。

前年度からの見直し拡充点	2.審査会での助言・コメント等についての改善・拡充点 令和6年度の審査会において、特段の改善指摘のコメントはありませんでしたが、過去に頂いているご助言に答えるべく以下のことに留意し取り組みます。 ・実行委員に「若い世代を採り入れる」取り組みを継続します。実現には難しい点が多々ありますが、小中学生の保護者の方々にインストラクターを定期的をお願いしている行事が全体の2割程ありますので、今年度も行事運営への協力者を増やす方法で進めたいと思います。 ・運営スタッフの大半が70歳以上の高齢者ですが、地域の親子との交流、仲間との交流を楽しみにされ健康法のひとつとして参加されていますので、今年度も引き続き運営スタッフとしてご協力頂きます。 ・受付時の体温チェック、会場内各所への手指消毒スプレーとアルコールウェットティッシュの配置、マスク着用の呼びかけ、調理時のビニール手袋の着用 等、基本的な感染防止策に留意していますので、今年度以降も継続して取り組みます。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以降の活動計画 ・旧白石幼稚園跡地が岡山市から借用できる間は、本事業を継続していきます。 ・事業実施に当たっては、参加者を増やし参加者が感動する行事を増やすことを心がけ、実施する行事を適時見直すことを継続して行きます。 ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	・参加者から、部材や食材の購入費用負担金として大人200円/回の参加費を負担して頂いていますが、中学生以下は参加費無料とすることで、誰でも気軽に参加できる仕組みにしています。又、季節の行事、ディキャンプ、野菜の収穫と調理、軽食後の後片付け等、食育に関わる行事を行うことで、食への関心を深めると共に、子ども食堂の要素も持たせています。 ・R6年5月に実施した「さつま芋苗の植えつけ」事業に、地域の放課後ディサービス施設から22名（内、支援が必要な児童17名）の参加がありました。今年度も参加頂けるよう広報活動を行います。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月 5日 4月19日 4月23日 4月 日	・親子土曜塾 舟ゆうさん ・親子土曜塾 草餅,桜餅づくり ・5月～6月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 (御南和やかサロン乳幼児親子との交流会)
5月10日 5月17日 5月24日 5月23日 5月 日	・親子土曜塾 夏野菜の苗植え+ポップコーン&たい焼づくり ・親子土曜塾 さつま芋苗の植えつけ+シャボン玉づくり ・親子土曜塾 ピザづくり ・6月～7月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜 (行事未定)
6月 7日 6月21日 6月23日 6月 日	・親子土曜塾 ドーナツづくり ・親子土曜塾 ボッチャ体験+ギョーザ&わた菓子づくり ・運営委員会開催 ・7月～8月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜 (行事未定)
7月 5日 7月19日 7月26日 7月23日	・親子土曜塾 七夕まつり ・親子土曜塾 夏休み図工教室 ・親子土曜塾 ペットボトルロケットづくり+【追加行事】 ・8月～9月の広報誌発行と配布
8月 8日 8月23日 8月30日 8月23日	・親子木曜塾 中学生企画:夏の遊ぼう会【平日開催】 ・親子土曜塾 防災キャンプ体験 ・親子土曜塾 舟ゆうさんとソーメン流し ・9月～10月の広報誌発行と配布
9月13日 9月23日 9月 日	・親子土曜塾 テニス,卓球,ボッチャ体験+月見団子づくり ・運営委員会開催 ・10月～11月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 (行事未定)
10月 4日 10月18日 10月23日 10月 日	・親子土曜塾 ボッチャ競技体験会+ベビーカステラづくり ・親子土曜塾 お芋ほりと芋料理づくり ・11月～12月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 (御南和やかサロン乳幼児親子との交流会)
11月 1日 11月15日 11月29日 11月23日 11月 日	・親子土曜塾 グラウンゴルフ体験会/小中学生 HUG&炊出体験会 ・親子土曜塾 玉ねぎの苗植え+カップケーキづくり ・親子土曜塾 ピザづくり ・12月～1月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 ・御南小学校 舟ゆうさん
12月 6日 12月13日 12月21日 12月21日	・親子土曜塾 クリスマス飾り&凧づくり ・親子土曜塾 干支の切り絵&正月飾りづくり ・親子土曜塾 餅つき大会【日曜日開催】 ・運営委員会開催 ・1月～2月の広報誌発行と配布
1月10日 1月24日 1月23日 1月 日	・親子土曜塾 昔遊び(正月遊び)+お餅でドーナツづくり ・親子土曜塾 お雛さま&昔のおもちゃづくり+いちご大福づくり ・2月～3月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 (行事未定) ・御南小学校 火起こし体験
2月 7日 2月21日 2月21日 2月 日	・親子土曜塾 チョコレートづくり&たこ焼きづくり ・親子土曜塾 五平餅づくり&じゃが芋の植えつけ ・3月～4月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾 (御南和やかサロン乳幼児親子との交流会)
3月 7日 3月21日 3月23日 3月 日	・親子土曜塾 テニス体験,卓球体験+クッキーづくり ・親子土曜塾 ありがとうパーティ ・運営委員会開催 ・4月～5月の広報誌発行と配布 ・ふれあい土曜塾

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	280,000	330,000	
実施団体負担金	15,600	45,000	
参加者負担金	105,000	105,000	
協賛金			
寄附金、他収入	198,000	192,000	久米町内会行事運営費、寄付金、他
収入合計	598,600	672,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	105,000	125,000	堆肥枠*4 ブルーシート(7.2m*9m)*1 食品容器等消耗品1式
②食糧費	11,800	12,000	会議用お茶、行事用飲料 24本×6
③印刷製本費	34,500	36,000	広報誌等印刷 1300枚*12ヶ月 会議資料印刷 600枚*4回
④燃料費	32,500	37,600	ガス代、薪代
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料	300	900	振込手数料 3件
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	395,000	430,000	土曜塾原材料費(餅つき大会原材料等)
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	14,000	14,000	講師謝礼 2000×7人
⑭保険料	5,500	16,500	傷害保険 5500×3行事
⑮旅費			
支出合計	598,600	672,000	

◆概算交付の可否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。